



弥生3月 離陸準備完了の月！

3月に入り、いよいよ今年度の登校日数もカウントダウンの段階まで来てしまいました。本当にあっという間の1年間だったように思えます。4月に心細そうな顔をしていた1年生が、今は、自信に満ちあふれた顔になっています。また、少しばかり落ち着きがなかったギャングエイジ達もずいぶん授業に集中できるようになってきました。更に6年生は、体の成長はもとより、仲間や下級生に対する思いやりと責任感が学校生活の随所で見られるようになりました。3月24日に一人一人の子どもたちが、納得の顔でゴールテープを切ることができるよう、わたしたちは最後の最後まで子どもたちの向上的な変容を求めます。そのキーポイントは、やっぱりこの1年間言い続けてきた次の3つを定着させることです。

「あいさつと返事で声をそろえる」。「くつや道具を整えることで心をそろえる」。「先生やお友達の話をしっかり聞くことで視線をそろえる」。卒業式での彼らの姿に、今年1年間の成果をみとりたいと思います。

ところで皆さんは、陰暦でいうこの「弥生」の意味を知っていますか？ちょっと調べてみたので聞いてください。

陰暦で言う3月「弥生（やよい）は、「弥生（いやおい）」が変化したものとされ、<弥（いや）>には、「いよいよ」とか「ますます」、<生（おい）>には、「生い茂る」と使われるように、「草木が芽吹くこと」という意味がそれぞれあります。つまり、3月は草木がだんだんと芽吹く月であるということから「弥生」と表現されるようになったようです。（諸説あり）

であるならば、わたくしは3月を年度（1年間）の総まとめである「終わりの月」という意味だけでなく、4月からの歩みをしっかりと踏み出すための「始まりの月」とであると解釈したいと思います。また、4月に翼を広げ新しい空へ離陸するには、この弥生3月に滑走路を動き出していなければなりません。ですから、「離陸準備完了の月」とも心得たいと思います。3月は、何となく物悲しい雰囲気になりますが、広陽の3月は、感謝と前進の3月にしたいと思います。



～今年度最後の参観日 etc.～



～服務規律の保持徹底に努めます～

2月27日、帯広市内の小学校に勤務する男性教諭が、未成年者に対するわいせつ行為の疑いで帯広警察署に逮捕されました。

本件の詳細は現在調査中とのことで不明ですが、市内全ての小中学校が、このことを極めて深刻に受け止めています。本校としては、今後もただひたすらに服務規律保持に努め、信頼に値する学校をめざし、日々努力してまいりたいと思います。

児童会選挙から (2/15)

平成29年度前期の児童会役員選挙が行われました。立候補した皆さんは、立ち会い演説会で緊張の中にも学校に対する熱い思いをしっかりと述べることができました。また、投票する人たちも候補者の演説をしっかりと聴くことができました。特にはじめでの選挙に臨む3年生の真剣な顔が印象的でした。尚、新児童会役員は、下記の皆さんに決まりました。先輩方の意志を受け継ぎ、「あいさつと優しさあふれる学校」を創って行きましょう!!ガンバレ!

会長 5年 佐藤 羽瑠
 副会長 5年 田中 杏 4年 三谷 萌歌
 書記 5年 七尾 梓 4年 伊藤 怜
 4年 大友 舜平

心と声と目線をそろえる



迷ってしまひます。。。

4年生福祉体験学習から (2/17)

帯広市社会福祉協議会の方を外部講師にお迎えし、4年生が福祉体験学習を行いました。車椅子の使い方を学んだり、実際に試乗したりしながら、しょうがいをもつ方の目線を体感しました。また、体におもりをつけ、目も見えづらくした中で、歩行体験も行いました。わずかでも、ご老人や体が不自由な方のことを考えることができたのではないかとと思います。4年生はこの体験から何を学んでくれたのだろうか?学習のまとめを注目したいと思います。



こんなに歩きづらいとは思わなかった。。。

こんなに歩きづらいとは思わなかった。。。

冬季アジア大会観戦する! (2/21) 応援の聲が選手の皆さんに届いたようです。観戦した競技では、十勝出身の選手が1位~3位までを独占!!素晴らしい!!子どもたちの感想をいくつか紹介しますと「迫力がすごかった!」「すごく速くて目で追えなかった」「清水選手に逢えて良かった。握手してもらえた」など、感激の様子がうかがえました。国際大会の規模の大きさなどを知ることができたよい学習でありました。



キラリ広陽っ子 Vol.17

明和・広陽サッカー少年団2年生

(村上琢磨くん・斉藤亮汰くん)

とかちU-8ウインターリーグ 優勝

2月19日に総合体育館で行われた標記大会で練習の成果を発揮した2人。優勝報告に校長室を訪れました。おめでとう!!

「放送席放送席、ヒーローインタビューです。勝因は?」「よく声が出ていたのがよかったです」「味方を見てプレーできました」



キラリ広陽っ子 Vol.18

すずらん学級6年 二ノ宮麻斗くん

第64回手足の不自由な子どもを育てる

運動作品コンクール 北海道共同募金会賞

当日は、十勝毎日新聞社の取材も受けた二ノ宮君。喜びの表情を周囲にふりまいていました。昨年の桔平氏、一昨年の桃香氏に続く入賞となりました。

全道第3席の入賞をすずらん学級全員で喜び合いました。おめでとう!!

とてもうれしいです!!

